

ハンドボール

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	アリーナC-女27
----------	-----------

No 11

年月日	2023年7月27日(木)
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 日本大学山形高等学校						B 岡山県立玉野光南高等学校										
北海道		函館市				函館アリーナAコート						2回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加 シフト	A	B		
	6	21		14	38											
7m得点/総数		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数						
1/2		1	2	前	3	1	2	後	3	0/0						
		06:12 20:16					15:21 20:32									
No.	日大山形					G	W	2'	D	DR	No.	玉野光南				
1	三浦 百恵										1	半田 咲來				
2 c	天野 佑菜					1					2 c	荒井 美咲				
3	片桐 暖					2					3	武縄 泉吹				
4	池野 真未					2					4	山地 乃暖実				
5	佐藤 珠梨					1					5	林 花鈴				
6	井上 想埜					4					6	濱田 みやび				
7	瀬野 千史					1					7	村瀬 咲音				
8	池田 心泉										8	稲田 乃愛				
9	西塚 絢乃										9	海野 心彩				
10	白木 日菜										10	前田 華鈴				
12	高山 璃々										11	山崎 裕愛				
13	蜂谷 楓										13	野田 しのの				
14	早坂 綾音										14	井上 優				
15	細谷 天琴					3	1									
監督A	原田 明香										監督A	平松 恭子				
役員B	神保 和浩										役員B	細江 守男				
役員C	遠藤 勲										役員C	小畑 貴章				

A	原田 明香	チーム役員A署名	平松 恭子	B
---	-------	----------	-------	---

特記事項

レフェリー	関 博隆	会田 健吾	関 博隆	会田 健吾
TD	小川 直宏	杉本 拓也	小川 直宏	杉本 拓也
MO				

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

No. 1d

試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月27日(木)		会場	函館アリーナ Cコート	
種別	女子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
日本大学山形高等学校			岡山県立玉野光南高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
14	6	前半	21	38	
	8	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTG			

戦評

大会2日目の第一試合となる日大山形と玉野光南の2回戦は日大山形のスローオフで始まった。開始直後は両チーム攻守交代を繰り返すが、前半2分玉野光南No.2荒井のカットインシュートで先制、日大山形に初戦の堅さがみられる中で、その後は玉野光南が次々と得点を決めていく。玉野光南No.1半田の好セーブもあり、山形日大はなかなか得点まで至らず、前半8分までに7対0とリードを広げられる。前半8分になって日大山形はNo.6井上がパスカットからの速攻で初得点、No.12高山が好セーブを見せるも、玉野光南の猛攻は止まらず、No.2荒井やNo.5林が連続得点を決める。その後、玉野光南は堅いディフェンスからの速攻に加えて、セットプレイも数的優位を作りながら確実にシュートまで至る攻めを繰り返し、21対6と大きな差をつけて前半を終えた。

後半に入り、日大山形はNo.3片桐の速攻から先に得点を奪うも、玉野光南は、No.2新井のカットインシュートやNo.3武縄のサイドシュート、No.5林のカットインシュート、No.7村瀬のポストシュートなどで次々と得点、後半6分までに27対8まで点差を広げる。後半7分以降には、玉野光南の2度の退場があり日大山形がパワープレイの機会を得るが、玉野光南の堅い守りを崩すにはいたらない。その後、日大山形は7人攻撃を繰り返すが、玉野光南は交代の隙もついて得点を重ねていく。後半20分には、玉野光南がメンバーを大幅に入れ替え、その後は一進一退の攻防となり、日大山形もNo.13蜂谷の速攻やNo.4池野のサイドシュートを決めて意地をみせるが、最後は、38対14で玉野光南が3回戦に駒を進めた。

記入者

鈴木 将宏